

経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○法人名：有限会社エルベ

○経営健全化方針を策定した理由：債務超過額が5,474,764円発生したため。

○財政的リスクの状況 （単位：千円）

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和 4 年度
債務超過額	5,475	8,190	
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額			
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間5年以上の土地の簿価総額 (A)			
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額 (B)			
標準財政規模 (C)			
実質赤字比率 (%)			
(A) / (C) (%)			
(B) / (C) (%)			

○主な取組状況（令和元年11月現在）

**【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】**

・雇用の安定確保と処遇改善

人手不足が深刻な状況のなかで、雇用の安定及び将来に向けた人材確保として非正規雇用者2名を正社員とし、退職金制度に加入した。

有給休暇の充実などをすすめ雇用の安定確保に努めた。

・イベントの定期開催によるリピーター獲得

イベントの開催により3月の売り上げは前年同期を超えた。他の月は超えることができなかった。

・夜営業の見直し

利益率を上げるために、夜営業を5名様以上から10名様以上とした。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

・適正公平な指定管理料の支払い

施設運営に必要な経費を再算定して指定管理料を増額した。

・経営に関する点検指導及び監督強化

定期的な運営状況の報告を法人側に求め、情報を共有しながら経営改善の見直しや強化にあたった。

現場で、業務管理、人材育成、イベント企画実施及び魅力あるガーデン創出を担うマネージャーを選した（人件費は第3セクター負担）。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

	項 目	金 額 (千円)	
		平成29年度	平成30年度
貸借対照表から	資産総額	5,191	4,955
	（うち現預金）	(3,427)	(3,492)
	（うち売上債権）	(35)	(5)
	（うち棚卸資産）	(776)	(645)
	負債総額	10,666	13,146
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	(0)	(0)
	純資産額	△5,475	△8,190

（損益計算書から）

	項 目	金 額 (千円)	
		平成29年度	平成30年度
損益計算書から	経常収益	36,702	34,906
	経常費用	37,476	35,795
	経常損益	△774	△889
	経常外損益	△72	△1,827
	当期純損益	△846	△2,716